

全日本女子フットサル選手権大会 福井県大会における
新型コロナウイルス感染症の対応策について

1.対応策（詳細はガイドラインを参照。）

- ① 全ての試合において、無観客試合とする。
- ② 大会参加申込書に記載された役員・選手以外は、会場内への立ち入りを禁止する。
- ③ 来場の際は、必ずマスクを着用すること。
- ④ チームは、試合当日の到着報告の際、健康チェックシート（大会開催日2週間前から当日まで）を提出すること。
- ⑤ 会場出入口に、手指消毒用アルコールを設置する。
- ⑥ 検温計を常備し、必要に応じて検温を行う。
- ⑦ 毎試合、オフィシャル席、チームベンチ等で使用する机・椅子のアルコール消毒を行う。
- ⑧ ハーフタイム時は、ベンチ用椅子のアルコール消毒を当該チーム間で行うこと
- ⑨ 観客席では、チーム内であっても一定の距離を確保すること。（2m以上）
- ⑩ チーム内ミーティング等は極力行わないこと。必要な場合は、一定の距離を保つか屋外で行うこと。
- ⑪ 試合前、ハーフタイム、試合終了後は、こまめな換気を行う。
- ⑫ チーム内集合写真を撮影する場合は、一定の距離を保ち、公式練習時間内で済ませること。
- ⑬ 試合前等の円陣は原則禁止とする。
- ⑭ 入場セレモニーは行わない。エキップメントチェックを終えた先発メンバーのみピッチ中央に集合する。
- ⑮ 試合の際は、大声を発することを慎むこと。ハイタッチや抱擁も禁止とする。
- ⑯ ベンチ入りの役員・スタッフ・試合に出場しない控え選手は、マスク着用を義務付ける。
- ⑰ 原則、ベンチ内でのビブスは、MCMで決定した色彩で選手全員が個人用として使用すること。
- ⑱ 試合終了後のベンチ挨拶、オフィシャル席挨拶は行わないこととする。
- ⑲ 試合終了後は、速やかに帰路につくこと。
- ⑳ 公式記録員、第3審判、TKはマスクの着用を義務付ける。（必要に応じ、手袋の着用を認める）
- ㉑ ボールパーソンは、マスク及び手袋の着用を義務付ける。